

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4)評価実施年度	平成 21 年度
(5)評価責任者職名	産業振興部長
(6)評価責任者氏名	半田 泰士
(7)評価者	阿山支所長、大山田支所長、青山支所長

(1)政策	コード 20	名称 (1)地域資源を活かした活力あるまちづくり
(2)基本施策	コード 43	名称 ②伊賀ブランドの価値を高め、売り出す
(3)生活課題	43	全国の人が、伊賀の特産物を認めている

(9) 継続・新規 (21,22,23,24)	コード	(10)事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H22投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)	指標の数値		(17) 指標の単位	(18) 評価類型	1次評価結果					(25) 1次評価修正有・無	2次評価					(33)その他の改革改善点について			
					H20 決算額	H21 予算額・補正要求額	H22 要求見込額	人	人件費		(14)指標名	(15) 20年度(実績)			(16) 22年度(目標)	個別評価					(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	(29) 修正点	(30) 優先度区分		(31) 方向性	(32) 方向性の評価について	
																(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性										(23) 総合評価
継続	547	伊賀米等生産振興対策事業	160100	農林振興課	2,629	2,629	2,629	0.1	720	生産調整目標の達成率	108	100%	I	4	4	4	3A	現状維持	無	—	—	無	—	1G	a	—	特産品の地域団体商標取得を目指す地域ブランド製品としての開発を目指し販売戦略を確立する		
継続	550	特産野菜等生産振興支援事業	160100	農林振興課	3,992	4,000	4,000	0.1	720	販売金額	12116	12000万円	I	4	3	4	3A	現状維持	無	—	—	無	—	1G	b	—	地産地消・食育の地域特性開発プロジェクトとして展開する		
継続	555	菜の花プロジェクト	160100	農林振興課	9,512	120,925	5,000	0.3	2,160	菜の花植栽面積	2000	2000a	II	4	4	3	4A	拡大	無	—	—	無	—	1G	f	—	農商工観光連携の基軸プロジェクトとして展開する		
継続	558	畜産振興事務経費	160100	農林振興課	2,003	4,011	4,011	0.1	720	優良素牛導入頭数	281	360頭	I	4	3	3	4A	現状維持	無	—	—	無	—	2G	b	—	支援施策の一元化を図る		
継続	603	畜産振興事務経費	653500	阿山産業建設課	967	232	232	0.2	1,440	予防接種対応頭数	451	—頭	I	4	3	4	3A	現状維持	無	—	—	無	—	2G	b	—	支援施策の一元化を図る		
継続	622	畜産振興事務経費	753500	青山支所 産業建設課	39	30	30	0.1	720	研修会・会議参加会員延べ人数	25	25人	I	4	4	3	2B	現状維持	無	—	—	無	—	3G	c	—	酪農産業に対する唯一の支援枠である。		
継続	657	地場産業振興事業	160500	産業振興部 商工観光課	1,490	1,490	1,490	0.7	5,040	物産展催事の売上高	4050	4000千円	I	3	4	4	2A	現状維持	無	—	—	無	—	4G	d	—	国の支援事業の導入を強化し、受益者負担の原則を導入し業界活性化を目指す。		
継続	667	地場産業振興事業	653500	阿山産業建設課	3,504	3,504	4,004	0.2	1,440	伝統産業会館入館者数	4512	4000人	I	4	4	4	3A	現状維持	無	—	—	無	—	3G	c	—	国の支援事業の導入を強化し、受益者負担の原則を導入し業界活性化を目指す。		
継続	606	収穫まつり開催事業	703500	大山田支所 産業建設課	2,700	2,295	2,295	0.3	2,160	来客数	9000	9000人	I	4	4	4	4A	現状維持	無	—	—	無	—	4G	d	—	事業主体の民営化を目指す		
継続	615	青山ふれあいフェスタ開催事業	753500	青山支所 産業建設課	1,750	1,487	1,487	0.2	1,440	入場者数(スタッフ等関係者除く)	3000	3300人	I	4	4	4	3A	現状維持	無	—	—	無	—	4G	d	—	事業主体の民営化を目指す		